



## 2022年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月8日

上場会社名 オプテックスグループ株式会社  
 コード番号 6914 URL <https://www.optexgroup.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 小國 勇

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼CFO (氏名) 大西 浩之

TEL 077-527-9861

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年12月期第3四半期の連結業績(2022年1月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第3四半期	40,468	18.9	5,295	38.8	6,239	48.8	4,520	53.1
2021年12月期第3四半期	34,049	35.2	3,816	201.3	4,191	212.1	2,952	313.8

(注) 包括利益 2022年12月期第3四半期 5,929百万円 (61.7%) 2021年12月期第3四半期 3,665百万円 (752.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第3四半期	127.26	126.41
2021年12月期第3四半期	81.65	81.21

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第3四半期	62,775	40,171	63.5
2021年12月期	57,769	35,360	60.7

(参考) 自己資本 2022年12月期第3四半期 39,833百万円 2021年12月期 35,072百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期		15.00		15.00	30.00
2022年12月期		18.00			
2022年12月期(予想)				18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日～2022年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,000	15.6	6,000	29.6	6,100	18.9	4,600	22.3	129.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

詳細は、添付資料P8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年12月期3Q	37,735,784 株	2021年12月期	37,735,784 株
期末自己株式数	2022年12月期3Q	2,210,601 株	2021年12月期	2,214,684 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年12月期3Q	35,524,057 株	2021年12月期3Q	36,159,964 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・決算補足説明資料につきましては、決算発表後一週間以内に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「ベンチャースピリット溢れる企業集団を目指す。」を企業理念とし、グループ本社機能の強化・レベルアップによりグループ全体の間接コストを抑制し、グループ各社の事業展開スピードを向上させ利益成長を加速することを経営方針としております。

本年度の重点施策として、グループ本社の管理機能を向上させることにより、グループ全体のコストの効率化と財務力の強化を図り、グループ各社の機動的な事業展開を促進しております。また、グループ各社の事業連携の強化を推し進め、シナジーの創出を加速することを目指しております。

当第3四半期連結累計期間は、既存主力事業の大幅な伸長及び為替の影響等で、売上高は404億68百万円と前年同期に比べ18.9%の増収となりました。利益面では、売上高の伸長に伴う売上総利益の増加が販売費及び一般管理費の増加を大きく上回ったため、営業利益は52億95百万円（前年同期比38.8%増）となり、経常利益は為替差益の増加等により62億39百万円（前年同期比48.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は45億20百万円（前年同期比53.1%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① S S 事業

S S 事業は、売上高173億39百万円（前年同期比15.4%増）、営業利益は22億93百万円（前年同期比26.7%増）となりました。

防犯関連は、売上高は119億56百万円（前年同期比15.7%増）となりました。国内におきましては、部品不足による製品供給遅延が影響し、前年同期実績を下回りました。一方、海外におきましては、米国及びヨーロッパでの大型重要施設向け屋外用センサーの販売が順調に推移し、前年同期実績を大幅に上回りました。

自動ドア関連は、国内向けの販売が堅調に推移し、海外向けの販売も大幅に伸長した結果、売上高は38億90百万円（前年同期比19.2%増）となりました。

#### ② I A 事業

I A 事業は、売上高220億34百万円（前年同期比21.2%増）、営業利益は30億62百万円（前年同期比40.9%増）となりました。

F A 関連は、半導体、電子部品及び二次電池向けの需要が拡大し、中国を中心とした海外向けの販売が大幅に伸長した結果、売上高は83億64百万円（前年同期比15.4%増）となりました。

M V L 関連も、半導体及び電子部品業界向けの販売が好調に拡大しており、売上高は98億85百万円（前年同期比17.3%増）となりました。

I P C 関連は、半導体製造装置向けで産業用コンピュータの販売が堅調に推移した結果、売上高は29億71百万円（前年同期比18.5%増）となりました。

M E C T 関連は、売上高は8億12百万円となりました。なお、第1四半期連結会計期間より、2021年11月に連結子会社化したミツテック株式会社を、I A 事業のM E C T 関連としております。

※M E C T : Mechatronics (メカトロニクス)

#### ③ E M S 事業

E M S 事業における外部顧客への売上高は、生産受託案件の増加により6億56百万円（前年同期比37.4%増）となりました。営業利益もグループ内製品の製造量が増加した結果、3億18百万円（前年同期比25.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は627億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ50億6百万円増加しました。

流動資産は473億49百万円となり、48億4百万円増加しました。これは主に、原材料及び貯蔵品等の棚卸資産が36億67百万円増加したことに加え、売上高の増加により受取手形及び売掛金が10億55百万円増加したことによるものであります。

固定資産は154億26百万円となり、2億1百万円増加しました。これは主に、償却等により顧客関係資産等の無形固定資産が2億40百万円減少したものの、投資その他の資産が2億45百万円、建物及び構築物等の有形固定資産が1億96百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は226億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億96百万円増加しました。これは主に、短期借入金等の流動負債が9億77百万円減少したものの、長期借入金等の固定負債が11億73百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は401億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ48億10百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が33億48百万円、為替換算調整勘定が15億1百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経営成績は、第2四半期連結累計期間に引き続き、S S事業の欧米向けやI A事業のアジア向けの販売が、為替レートの円安と相まって想定を上回り伸長するなど、好業績の結果となりました。

通期の業績予想につきましては、足元では好調な引き合いが継続している一方で、半導体や電子部品等の需給逼迫の継続や、為替市場の動向等、事業活動に及ぼす影響が依然として不透明であるため期初予想を据え置いております。今後の状況により連結業績予想を修正する必要がある場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,120	16,747
受取手形及び売掛金	10,444	11,500
有価証券	133	330
商品及び製品	3,970	5,275
仕掛品	1,894	1,832
原材料及び貯蔵品	5,771	8,195
未収還付法人税等	207	123
その他	3,060	3,404
貸倒引当金	△57	△61
流動資産合計	42,544	47,349
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,308	3,431
機械装置及び運搬具(純額)	333	385
工具、器具及び備品(純額)	836	770
土地	2,480	2,535
建設仮勘定	35	68
有形固定資産合計	6,993	7,190
無形固定資産		
特許権	362	299
商標権	411	362
顧客関係資産	642	528
のれん	1,052	1,040
その他	735	732
無形固定資産合計	3,204	2,963
投資その他の資産		
投資有価証券	2,117	2,166
長期貸付金	373	463
繰延税金資産	1,954	2,026
その他	612	647
貸倒引当金	△31	△32
投資その他の資産合計	5,026	5,272
固定資産合計	15,224	15,426
資産合計	57,769	62,775

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,589	3,374
短期借入金	10,520	8,506
1年内返済予定の長期借入金	164	640
未払金	1,260	946
未払法人税等	1,370	961
賞与引当金	988	1,140
その他	1,667	2,013
流動負債合計	18,562	17,584
固定負債		
長期借入金	210	1,481
繰延税金負債	1,146	1,059
再評価に係る繰延税金負債	22	22
退職給付に係る負債	1,366	1,398
役員退職慰労引当金	180	138
その他	919	918
固定負債合計	3,846	5,019
負債合計	22,408	22,604
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,798	2,798
資本剰余金	7,580	7,580
利益剰余金	27,549	30,898
自己株式	△3,594	△3,588
株主資本合計	34,333	37,689
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48	△61
土地再評価差額金	△5	△5
為替換算調整勘定	725	2,227
退職給付に係る調整累計額	△30	△15
その他の包括利益累計額合計	738	2,144
新株予約権	275	322
非支配株主持分	12	15
純資産合計	35,360	40,171
負債純資産合計	57,769	62,775

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
売上高	34,049	40,468
売上原価	16,204	19,575
売上総利益	17,845	20,892
販売費及び一般管理費	14,029	15,596
営業利益	3,816	5,295
営業外収益		
受取利息	10	18
受取配当金	12	12
投資有価証券売却益	8	18
投資事業組合運用益	6	7
為替差益	149	768
受取賃貸料	18	13
保険戻戻金	41	45
持分法による投資利益	11	53
補助金収入	131	18
その他	40	49
営業外収益合計	431	1,005
営業外費用		
支払利息	24	39
売上割引	17	-
賃貸費用	7	7
その他	5	14
営業外費用合計	55	61
経常利益	4,191	6,239
特別利益		
固定資産売却益	3	8
投資有価証券売却益	10	-
特別利益合計	13	8
特別損失		
固定資産除売却損	13	4
関係会社株式評価損	33	-
事務所移転費用	32	-
特別損失合計	79	4
税金等調整前四半期純利益	4,125	6,243
法人税、住民税及び事業税	1,553	1,801
法人税等調整額	△381	△80
法人税等合計	1,172	1,721
四半期純利益	2,953	4,521
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,952	4,520



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	2,953	4,521
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29	△110
為替換算調整勘定	662	1,503
退職給付に係る調整額	20	14
その他の包括利益合計	712	1,407
四半期包括利益	3,665	5,929
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,663	5,926
非支配株主に係る四半期包括利益	2	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、収益は顧客との契約において約束された対価から、リベート及び売上割引を控除した金額で測定しています。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しています。

なお、当該会計方針の変更が当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	SS事業	IA事業	EMS事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	15,023	18,183	477	33,684	364	34,049	—	34,049
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	46	15	7,457	7,520	43	7,563	△7,563	—
計	15,070	18,198	7,935	41,205	408	41,613	△7,563	34,049
セグメント利益 又は損失(△)	1,809	2,174	254	4,237	△12	4,225	△409	3,816

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、ソフトウェア開発及び環境体験学習運営等の事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△409百万円には、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	SS事業	IA事業	EMS事業	計				
売上高								
防犯関連	11,956	—	—	11,956	—	11,956	—	11,956
自動ドア関連	3,890	—	—	3,890	—	3,890	—	3,890
FA関連	—	8,364	—	8,364	—	8,364	—	8,364
MVL関連	—	9,885	—	9,885	—	9,885	—	9,885
IPC関連	—	2,971	—	2,971	—	2,971	—	2,971
MECT関連	—	812	—	812	—	812	—	812
その他	1,492	—	656	2,148	437	2,586	—	2,586
顧客との契約か ら生じる収益	17,339	22,034	656	40,030	437	40,468	—	40,468
外部顧客への 売上高	17,339	22,034	656	40,030	437	40,468	—	40,468
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	62	32	9,032	9,127	53	9,180	△9,180	—
計	17,402	22,066	9,689	49,158	490	49,649	△9,180	40,468
セグメント利益	2,293	3,062	318	5,674	25	5,700	△404	5,295

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、ソフトウェア開発及び環境体験学習運営等の事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△404百万円には、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。